

CITIZEN 電波時計 (デジタル目覚まし時計) 取扱説明書

取扱説明書番号 D028-CXXZ

～ 製品の特長 ～

- 標準電波を受信してカレンダーと時刻を自動修正
- 温度と湿度を表示します
- カレンダーと時刻の表示位置を切り替えできます

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

発売元 **リズム時計工業株式会社**
〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
<http://www.rhythm.co.jp>

(Y0711)

CITIZENはシチズンホールディングス株式会社の登録商標です。

安全にお使いいただくために (はじめにお読みください)

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

■表示の説明について

表示内容を無視して、誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分して説明しています。

	この表示は、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
	この表示は、「傷害を負う可能性または物的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■誤飲による事故防止について

小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

■アルカリ電池について

- 電池からもれた液が眼に入った場合は、失明するおそれがありますのですぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。また、皮膚や衣服に付着した場合は、水で洗い流してください。
- ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。液もれ、発熱、破裂の原因になります。

■電池について

- 電池の使い方を間違えると、発熱、破裂の危険や液もれにより人体や時計周りを傷めることがあります。
- + (プラス)、- (マイナス) を逆に入れないでください。
- 使い切った電池は速やかに取り出してください。
- 長期間使用しない場合は、電池を取り出してください。
- 電池交換時は、すべて指定の新しい電池とお取りかえください。
- 異なる種類の電池、新しい電池と古い電池を混用しないでください。
- 電池交換時は、電池と時計の端子 (接触部) の汚れを落としてから入れてください。

分解したり改造しないでください。故障の原因になります。

時計は精密機器です。落としたりして衝撃を与えないでください。故障や破損の原因になります。

お守りいただく内容の種類を、下記の表示で区分して説明しています。(表示の一例です。)

	この表示は、してはけない「禁止」内容です。
	この表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

■使用場所について

下記のような場所では使わないでください。機械やケース、電池の品質が低下し、精度不良や時計、電池の寿命が短くなります。

- 温度が+50℃ (50度) 以上になる所。例えば、長時間直射日光のあたる所。暖房器具等の熱風や火気に近い所。
- 温度が-10℃以下になる所。性能が低下することがあります。
- 浴室など湿気が多いところ。
- ほこりが多く発生するところ。
- テレビ・OA機器・オーディオのそばなど強い磁気が発生する所。磁力の影響で、時計の進みや遅れが生じたり、止まることがあります。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- 温泉場など、ガスの発生する所。
- 多くの油を使用する所。霧状になった油分がケースや機械部に付着し、汚れや止まりの原因になります。
- プラスチック製の時計の場合、軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、相互に色移りしたり、付着することがあります。

液晶について

表示部が破損して液晶が手などについた場合は、石鹸で洗い流してください。目や口に入った場合は、きれいな水でよく洗い流し、直ちに、医師の治療を受けてください。

お手入れについて

- 汚れがひどい時は、水でうすめた中性洗剤や石けん水、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

④液晶表示は0～40℃の温度範囲を超えると見えにくくなる場合があります。

- 付属の電池は、工場出荷時に入れてありますので、電池寿命が製品仕様より短いことがあります。
- 液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して表示が見にくくなる場合があります。
- 製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。
- 松下電池工業株式会社製「オキシライド乾電池」を使用しないでください。正常に表示されない場合や電池寿命が製品仕様より短くなる場合があります。
- 時計を廃棄するときには、お住まいの地区の基準に従ってください。

静電気による誤作動について

静電気の影響により正常に機能しなくなることがあります。このようなときにはリセットボタンを押してください。時刻、カレンダー、アラーム時刻は再度設定してください。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。この製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してならん責任を負いません。

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について

この時計の修理用性能部品 (電子回路・歯車等) は製造打ち切り後、3年間で標準に保有しています。ただし、外装部品 (ケース・文字板等) の修理には、類似の代替品を使用したり、現品交換させていただくことがあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合

転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。(保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。)

電波時計について

電波時計とは

電波時計は、正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。

標準電波とは

標準電波 (JJY) は、日本標準時 (JST) をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。標準電波送信所は、福島県の「福島局:おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局:はがね山標準電波送信所」の2カ所あります。標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(http://jjy.nict.go.jp)

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所。
- 金属製の雨戸やブラインドの近くビルの地下など
- 高压線、テレビ塔、電車の架橋近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く、スチール机等の金属製家具の上や近く

標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

6 温度・湿度表示

センサーが時計内部にあるため、表示に反映するまでには時間がかかります。

測定範囲を超えた場合の表示

温度 「HH.H」 50℃より高温 「LL.L」 -9.9℃より低温

湿度 「HH」 95%を超える 「LL」 20%未満 「--」 測定不能 温度が5℃未満または50℃以上

④本製品は室内用です。室内の温度・湿度計測以外の目的では使用できません。また厳密な温度・湿度管理を行う用途には適していません。

7 電池交換時期のお知らせ機能

電池の交換時期になると、 マークが表示されます。このマークが表示されたら、お早めに電池を交換してください。

8 電波受信機能のON/OFF操作

受信機能 OFF (無効にして手動で時刻を合わせる)

リセットボタンをおよそ1秒間隔で3回押してください。

○「ピー」と鳴ったらすぐに押してください。

○3回目は「ピー」と鳴りません。

○カレンダーおよび時刻は手動で合わせてください。

◎操作のタイミングによっては、ON/OFFが切り替わらないことがあります。このようなときには操作を繰り返してください。

9 強制受信とリセット操作

強制受信ボタン

場所を移動したときなど電波の受信を試みたいときに使います。受信に失敗しても時刻は継続して表示します。※つぎのようなときは受信を開始しません。

- アラームが鳴っているときやスヌーズ中
- 手動でアラーム時刻または時刻を設定している最中

アフターサービスなどについてご不明なことがありましたらお客様相談室にお問い合わせください。

お問い合わせに際しては、製品番号 (型番) 「8RZ077」をお伝えください。

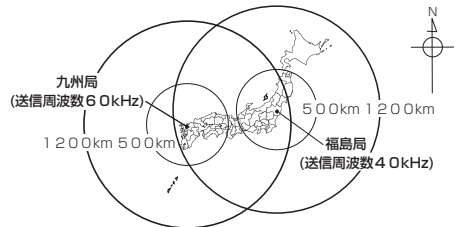
お問い合わせ先

お客様相談室 **0120-557-005**

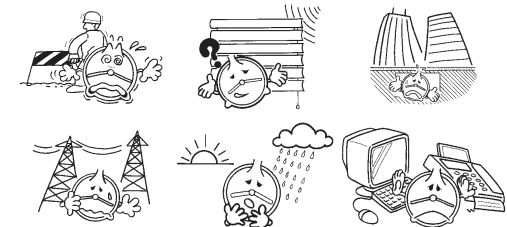
(フリーダイヤル)
受付時間 9:00～17:00
(土日、祝日および当社休日を除く)

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害 (太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯 (昼/夜) あるいは地形や建物の影響など) により、受信できないことがあります。



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。



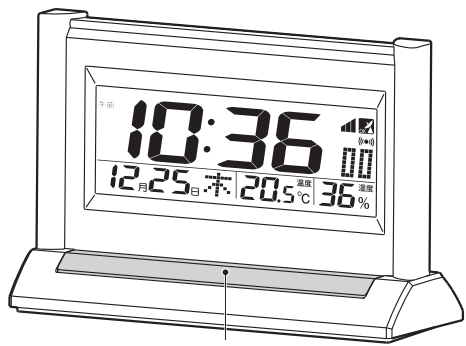
海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。海外でご使用になるときには、電波受信機能をOFFにして手動で時刻合わせをしてお使いください。

おもな製品仕様

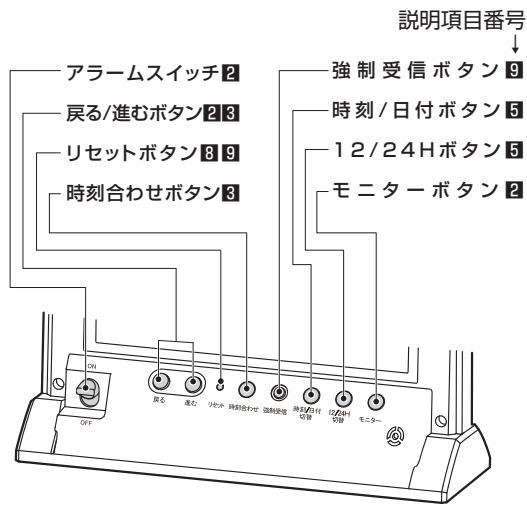
時間精度	●電波の受信に成功している場合 (受信直後) 表示精度 ±1秒 ●電波を受信しない場合 平均月差 ±30秒 (常温中のクォーツ精度)
使用温度範囲	-10～+50℃ (注)
使用電池	単4形アルカリ乾電池 (JIS規格 LR03) 3個
電池寿命	約1年 アラーム:30秒/日 照明:3秒/日
アラーム精度	表示時刻に対して±0秒
アラーム音	4段階電子音 (鳴り方が変化)
その他	標準電波 標準電波受信による時刻修正 福島局/九州局自動選択 自動電波受信回数 1日8回 標準電波受信機能ON/OFF切り替え 表示切替 12時間/24時間制切り替え表示 時刻、日付表示位置切り替え カレンダー 2007～2099年 西暦、月日、曜日 アラーム アラームオートストップ/スヌーズ機能 アラーム音モニター 照明 ライトボタンを押すと表示部を約3秒間照明 電池の交換時期お知らせ機能 温度表示 -9.9～+50℃ 誤差 ±2℃ 湿度表示 20～95% 誤差±10%(5～50℃)

図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。



スヌーズボタン 2 4
(ライトボタン兼用)

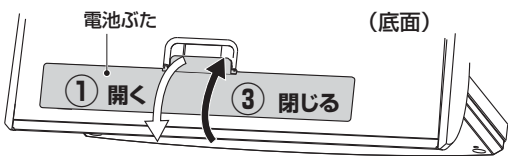
- 液晶表示は見る角度によって、見えにくくなったり、ムラに見えることがあります。
- 透過式の液晶を使用していますので、液晶表示の背景が暗い場合や黒いものがあると見えにくくなります。



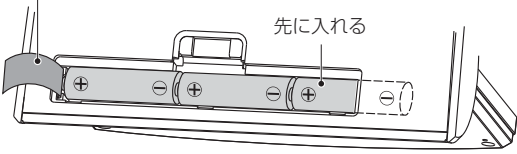
<裏面操作部>

1 電波を受信して時刻を合わせる

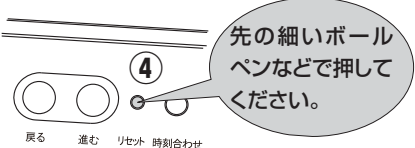
<電池の入れ方>



絶縁体があるときは、取り除く



② 単4形アルカリ乾電池を3個入れる。



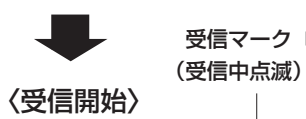
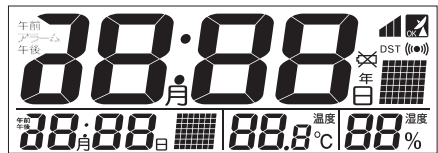
④ 先の細いボールペンなどで押してください。

電波受信中のボタン操作について

電波の受信中に進むまたは戻るボタンを押すか、時刻合わせボタンを約2秒間押し続けると、受信マークが消灯し受信を中止します。

【受信の流れと表示】

<リセットボタンを押した直後>



※電源投入直後およびリセットボタンを押した直後は、時刻は午前12:00、アラーム時刻午前6:00に設定されます。



(受信に成功したときの表示例)

※受信に成功しても、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。このような場合は、リセットボタンを押して、再度受信を試みてください。

アドバイス

テレビ、蛍光灯などの家電製品やパソコンなどのOA機器からのノイズにより、電波を受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。場所を変えてからリセットボタンを押して、再度受信を試みてください。

手動で時刻を合わせるときには、「**4** 電波を受信できない場合」の「手動での時刻の合わせ方」をお読みください。

電波を受信しやすい窓際などに置いてください。

- ① 電池ぶたを開ける
- ② 電池を入れる
図のように電池を入れると「ピー」と鳴ります。
※短い時間に電池を入れ替えると鳴らないことがあります。
※電池を逆向きに入ると液もれ、発熱、破裂の危険があります。
- ③ 電池ぶたを閉じる
- ④ リセットボタンを押す
「ピー」と鳴って、受信マークが点滅し受信を開始します。
◎ 受信中はボタンに触れないでください。
- ⑤ 受信結果を確認する
受信には最長21分程度時間がかかります。受信マークで受信結果を確認してください。
→「受信の流れと表示」参照

電池の交換について

- 指定の新しい電池にすべて交換してください。
- 電池を入れた後は、必ずリセットボタンを押してください。
- アラーム時刻は再度設定してください。

電池からの液もれに注意

時計が止まった状態で電池を入れたままにすると、電池からの液もれにより、時計や家具などに損傷を与えます。表示が薄くなったり、時計が止まったら電池を取り出すか、電池を新しいものに交換してください。

受信マークの変化
電波の状態により変化します。(電波サーチ機能)

受信できない 受信しやすい



チェック!

1~2分経過しても①または②の受信状態が続く場合は受信できません。場所を変えてリセットボタンを押して、再度受信を開始させてください。



(受信に失敗したときの表示例)

※受信に失敗した場合は、表示されている時刻は正しくありません。

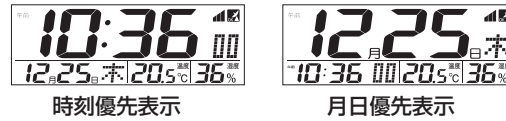
4 表示面の照明

スヌーズボタンは、ライトボタンをかかえていますので、ボタンを押すと表示面が約3秒間照明されます。
※液晶の特性により、照明時は表示が見にくいことがあります。正面よりやや上方より見てください。

5 表示の切り替え

時刻/日付優先表示切り替え

時刻/日付ボタンを押すと、時刻と日付の表示位置を切り替えることができます。



12時間制/24時間制表示切り替え

12/24Hボタンを押すと時刻の表示形式が切り替わります。

午前/午後付き12時間制 ⇄ 24時間制表示

※つぎのようなときは表示の切り替えはできません。

- 電波の受信中
- アラームが鳴っているときやスヌーズ中
- アラーム時刻または現在時刻を設定している最中

2 アラーム機能の使い方

アラーム時刻の合わせ方

「アラーム」点灯: アラーム時刻を表示中



<表示例> アラーム午前6時20分 アラームスイッチOFF

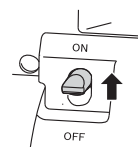
◆午前/午後の表示に注意

表示されていない場合は24時間制の表示です。

- ① 「進む」または「戻る」ボタンを押す
「アラーム」の文字が点灯し、アラーム時刻が点滅します。
- ② 時刻を合わせる
進むまたは戻るボタンを押してすぐに離すと、1分進んだり戻ったりします。押しつづけると早く変わります。
- ③ およそ5秒間ボタン操作をしない
アラーム時刻合わせを終了します。

アラームのON/OFF設定 (アラーム時刻の確認)

「アラーム」点灯: アラーム時刻を表示中



アラームスイッチ



- アラームスイッチ ON : 設定時刻にアラームが鳴る
- ▶アラームマーク (●) が点灯してアラーム設定時刻を3秒間点滅表示。
 - ※アラーム時刻は常時表示されません。アラーム時刻を確認するときには、アラームスイッチをOFFからONにしてください。
- アラームスイッチ OFF : アラームを止める、鳴らさない
- ▶アラームマークが消灯します。

アラーム音の確認方法 (モニターボタン)

モニターボタンを押すとアラーム音が約2分間鳴ります。アラームが鳴っているときに再度モニターボタンを押すと停止します。

アラームオートストップ機能

鳴っているアラームを放置すると約2分間で終了します。

スヌーズ機能

アラームが鳴っているときに、スヌーズボタンを押すと、アラームマーク (●) が点滅し、アラームが約5分間停止後、また鳴りだします。この操作は7回まで繰り返すことができます。8回目にスヌーズボタンを押すとアラームは停止し、アラームマーク (●) は点灯表示になります。

アラームご使用上の注意

アラームマーク (●) が点灯表示のときは、アラームはアラームスイッチがOFFにされるまで毎日アラーム時刻に鳴ります。

3 電波を受信できない場合

●朝までそのまましておく

一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておく受信できる可能性が高くなります。

●場所を変える/受信をやり直す

電波の受信しやすい窓ぎわや、電波の送信所(取扱説明書の日本地図を参考)に、なるべく時計の正面または裏面が向くように置き直し、リセットボタンを押して結果を確認します。

受信できない場合は、下記操作でご使用になれます。

■手動での時刻の合わせ方

- (1)時刻合わせボタンを西暦年が点滅するまで約2秒間押し続けます。
 - (2)西暦年、月、日、時刻(時、分)の順に設定します。
 - 進むまたは戻るボタンを押して数値を合わせます。押しすぎると1つ単位に変わり、押し続けると連続して変わります。
 - 時刻合わせボタンを押すとつぎのステップに移ります。
- ※電波受信機能が「ON」の場合、手動で時刻合わせをしても、自動受信を行い、受信に成功すると時刻を修正します。☞「4 電波受信機能のON/OFF操作」
- ※約30秒間ボタン操作をしないと、表示されている時刻に設定して、手動時刻合わせを終了します。
- ※電波を受信できない場合は、平均月差±30秒になります。

操作例. 2008年12月25日 午前10:36に合わせる

- ① 時刻合わせボタンを約2秒間押しつづけます。西暦年が点滅します。
- ② 進むまたは戻るボタンで「年」を「2008」に合わせます。時刻合わせボタンを押して確定します。
- ③ 進むまたは戻るボタンで「月」を「12」に合わせます。時刻合わせボタンを押して確定します。
- ④ 進むまたは戻るボタンで「日」を「25」に合わせます。時刻合わせボタンを押して確定します。
- ⑤ 進むまたは戻るボタンで「時」を「10」に合わせます。時刻合わせボタンを押して確定します。
- ⑥ 進むまたは戻るボタンで「分」を「36」に合わせます。このとき進むまたは戻るボタンを押すたびに秒は「00」秒に設定されます。時刻合わせボタンを押して設定を終わります。

- 時刻表示は12/24時間制がありますので、時刻を合わせるときに注意してください。
- 電波の受信中に時刻合わせボタンを約2秒間押し続けると、受信を中止して時刻合わせ状態になります。
- アラーム時刻またはアラームマークが点滅しているときは、時刻合わせボタンを押しても、切り替わりません。